

公募審査（採択）結果の公表

令和4年4月28日

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課風力政策室

事業名：令和4年度 洋上風力発電人材育成事業費補助金

(採択事業者)

事業者名	法人番号	提案価格
PwCあらた有限監査法人	8010005011876	650,000,000

(提案事業者名)

- ①PwCあらた有限監査法人
- ②公益財団法人日本財団
- ③株式会社JTBコミュニケーションデザイン

※提案事業者名と下記にある事業者名の順番は必ずしも対応していない

(審査委員属性)

- 大学教授
- 弁護士
- 独立役員

※審査委員の属性と下記にある委員の順番は必ずしも対応していない

(採点結果)

提案事業者名	委員A	委員B	委員C	合計
PwCあらた有限監査法人	43	43	57	143
XXX	44	36	55	135
YYY	40	37	53	130

提案事業者名	応募資格を満たしているか	提案内容が交付の対象となりうるか	提案内容が本事業の目的に合致しているか	事業の実施方法、実施スケジュールが現実的か	事業を遂行するための資力、資金調達能力を有しているか	事業規模が適切か、また継続性のある提案であるか	事業の実施方法等について、本事業の成果を高めるための効果的な工夫が見られるか	本事業の関連分野に関する知見を有しているか	本事業を円滑に遂行するために、事業規模等に適した実施体制をとっているか	コストパフォーマンスが優れているか。また、必要となる経費・費目を過不足なく考慮し、適正な積算が行	本事業の類似事業の実績があるか	合計
PwCあらた有限監査法人	25	12	12	11	14	12	11	11	11	12	12	143
XXX	25	11	10	9	14	12	9	11	9	12	13	135
YYY	24	11	10	11	14	11	9	10	12	10	8	130

(評価コメント)

提案事業者名	コメント
PwCあらた有限監査法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業者は、これまでの洋上風力発電関係の調査・支援実績などが豊富であり、それらで得た業界への知識やコネクションを生かした着実な補助金執行が期待出来る。運営における体制についても、役割分担が明確であり、これまでの補助金事務局としての経験などを元にした無理のない体制が組まれている。間接補助事業者の公募スケジュールについては前倒しが必要だが、前倒しは可能という説明があった。</li> <li>・一方、国内の洋上風力発電人材育成にかかる知見については、今後の調査業務を通じて獲得していく必要がある。</li> </ul>
XXX	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業者は、これまでの海洋関係の人材育成の実績は豊富であり、実施体制についても無理のない体制が組まれている。</li> <li>・一方、提案書の内容に具体性が欠けるとともに、既存の自主事業と本補助事業との棲み分けの観点から本補助事業が想定している補助対象の範囲より狭く運用されてしまう懸念がある。</li> </ul>
YYY	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業者は、広報活動における実績は豊富であり、本補助金執行においても経験を生かして工夫した広報活動が期待できる。</li> <li>・一方、洋上風力関係の実績と知見がやや不十分である点に懸念あり。また、人件費を中心に業務管理費が高み、コストパフォーマンスが悪い。</li> </ul>